

NPO法人彦根景観フォーラムでは、ひこね街の駅「寺子屋力石」(彦根市花しょうぶ通り)で、土曜日の午前10時30分から12時まで《談話室》を開いています。

一人一人の体験や趣味の活動などの「それぞれの彦根物語」を話題に、みんなで語り合い、彦根での楽しみごとを共有し、より充実した生活につなげる企画です。

第38話、第39話は次のとおりです。

【彦根物語 38】 平成20年2月9日(土)

「植物との語らい 一会えてよかったー」

中川信子氏(自然観察指導員、彦根城オニバスプロジェクト事務局)

【彦根物語 39】 平成20年2月16日(土)

「まちなかギャラリー実動80日」

角省三氏(彦根景観フォーラム会員、滋賀作家クラブ)

## 世界遺産シンポジウム

### 世界遺産を目指す彦根の課題

平成19年10月20日 滋賀大学講堂

彦根が世界文化遺産登録をめざすにあたっては、世界遺産について市民も含めた議論が重要です。彦根では、既に古民家が除却され、マンションや駐車場に変わっています。築城500年祭を迎える頃には、現在とは全く異なった姿になるでしょう。今後、世界の中で彦根をどんな町にするのか、いま市民の意思が問われています。

今回の世界遺産シンポジウムでは、都市史の権威で、彦根市の「世界遺産懇話会」座長の西川幸治 前滋賀県立大学学長より基調講演をいただきました。

西川先生は、ドイツのローデンプルク、ドレスデン、ポーランドのワルシャワなどが、第2次世界大戦で壊



滅的な打撃を受けた後、壊れた煉瓦を一つ一つ積み直し昔の通りに建物や広場を再生し、世界遺産に登録された事例をあげ、歴史都市を

再生したいという市民の願いと行動が、世界遺産にふさわしい価値を生み出しているとされました。

また、既に世界遺産に登録されている姫路城と彦根を比較して、城郭の規模や構成は姫路城の方が大きく壮大であるが、彦根には大名の居館、武家屋敷、町家が残し、道や堀などの城下町の骨格が残っている点に価値があり、近世城下町の特徴を維持しながら今日まで発展してきた、この価値を大切にして世界に誇れる「年輪を刻み込むまちづくり」をしたいと述べられました。



その後、市民7名から発表があり、市民に情報がなく盛り上がり欠けること、外からの目を嫌う内向きになる市民性と、自立のために外の目を利用した市民と行政の問題解決プログラム、仕組みづくりが必要との意見が出されました。また、400年祭の経験から、「ちょっと磨くときらっと光る町になる。歴史の掘り起こしやイベントなどいろいろな事を楽しんで、普段の生活の延長が世界遺産になる「みんなで作る世界遺産」にしよう」と提言されました。

## 話し合う夢から始まる・まちづくり NPO彦根景観フォーラムのご案内

教員や学生、建築家、主婦、会社員、市民、商店主、公務員など、いろんな人と知恵が集まります。

- 定例会 毎月第2水曜日午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも参加できます。
- 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431

ブログ:<http://hikonekeik.exblog.jp>

e-mail: [hikonekeikan@hotmail.com](mailto:hikonekeikan@hotmail.com)



# きらっと彦根 vol. 11

彦根の魅力★再発見

彦根まちづくり誌 2008年 1月10日 通巻11号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

## ■彦根城下町のシンボルを守れ

### 辻番所・足軽屋敷保全へ募金

昨年12月1日、『彦根古民家再生トラスト』が発足しました。トラストは、その規約で「彦根の貴重な歴史建造物の保全と活用を図るために、資産の買取や保全活用に必要な資金の獲得を目的とする」と謳っています。

### 辻番所をもつ足軽屋敷を守ろう

トラスト発足のきっかけは、芹橋に残った「辻番所をもつ足軽屋敷」が家主のご都合により売却されることになったことです。売却されると資産価値のない古い建物は取り壊されます。彦根城下町のシンボルとなる、この貴重な歴史建造物を破壊から守り、恒久的に保全しなければならない。そのためには、市民が買い取るしか方法がない。

### 「彦根古民家再生トラスト」が発足

このような考えから、地元の「芹橋足軽倶楽部」の人々とNPO彦根景観フォーラムが共同で呼びかけを始めました。幸いにも新聞各社の関心と呼び、大きな紙面で幾度も報道してくれました。

芹橋にお住まいの方とNPOのメンバー5人が中心になって、発起人を呼びかけたところ、早速60人近い方々に賛同をいただき、昨年12月1日、トラストの発足に至ったものです。



トラストの理事長に山崎一眞 滋賀大教授、その他に理事7名、監事2名、会計1名



辻番所をもつ足軽屋敷・磯島家

を選出しました。

目標募金額は1000万円。個人は一口千円から、大口は1万円から。皆様から要請があれば説明に伺いますので、気軽に声を掛けてください。ふるってご寄付いただきますようお願いいたします。詳しくは、

NPO法人 彦根景観フォーラム まで  
(電話：0749-27-1141)

取扱機関：滋賀銀行 彦根支店 口座番号 267886  
滋賀中央信用金庫 彦根営業部 口座番号 0623881

## 完成！伝統町家の耐震改修

### 寺子屋力石で改修事例を公開中

彦根に多くある木造伝統構法の住宅。その耐震補強を鈴木有（たもつ）金沢工業大学名誉教授、滋賀県立大学柴田いつみ教授の指導のもと、寺子屋力石で市民、学生、建築士が、工務店と一緒にワークショップを開きながら工事をすすめて、11月11日に完成しました。

耐震性が増しただけでなく、見違えるように「おしゃれ」になった寺子屋力石、一般公開をしていますので、是非お越しください。

特集：辻番所をもつ足軽屋敷  
その保全と活用を考える

● 伝統町家 寺子屋力石  
耐震改修レポート（1）

● それぞれの彦根物語 2008  
● 世界遺産シンポジウム  
世界遺産をめざす彦根の課題